

建築士になるために

筑波大学附属小学校 五年 坂本 絢音

私の夢は建築士になることだ。建築士に興味をもったきっかけは二つある。一つ目は、私の祖父が建築士だったこと。建築士を身近に感じた。二つ目は、私の住んでいる家の一部がリノベーション（住みやすい工夫がたくさん盛り込まれた工事）をした部屋であったこと。様々な工夫をして家を作ることが面白そうだと思った。

建築士の勉強になると思い、去年から建築模型制作の習い事を始めた。この習い事では、お店や庭付き住宅のデザインなどに取り組んでいる。建築模型を制作し、完成後には先生たちに向けてプレゼンテーションをしている。自分で考えたデザインについて説明をしたり、先生からの質問に答えたりすることで、自分で作った建築模型の良さを人に伝えることは大変だったが、楽しみながら学んでいる。

今後は、有名な建築物や建築関係の本を通じて、建築士のことや建築に関係する法律などを少しずつ学びたい。実力のある建築士になるために、将来は建築関係の教育が充実した大学で学びたい。建築関係の勉強ができる大学は、私の住む東京都内だけでも二十五校ある。各大学の特長を調べ、目指すことに決めた大学に入学できるように、まずは学校の勉強をがんばるつもりだ。

先日、母が買ってくれた建築関係の本に「建築家は普通の人、みんなの気持ちに気を遣うことのできる謙虚な人でなければならぬ」といったことが書いてあった。建築士が良いと決め込んだ家が、住む人にとって必ずしも快適な家とは限らない。だから「みんなの気持ち」を大切にし、住む人の意見を素直に聞ける「謙虚な人」である建築士が「良い建築士」なのだと思った。

そこで私は、将来「良い建築士」となるよう、友だちをたくさん作りたい。多くの友だちと関わることで、みんなの気持ちに分かる人に近づけると思うからだ。

将来、私を「良い建築士」と思ってくれる人が世界中にたくさんいて、私が作った建築物が未来の人からも評価される建築士に私はなりたい。

坂本 絢音 のライフプラン

将来なにになりたいか？ **建築士**

その理由：**変な形の家が好きだから。自分で設計して家を作りたいから。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	11(小5)	好きな家の建築模型を作る。友達と楽しむ。	なすい専代
2024年	12(小6)	算数をたくさん勉強する。宿題は息がでない日は、その日の1つを見る。	
2025年	13(中1)	毎日勉強をがんばる。テストも提出物もがんばる。	
2026年	14(中2)	じゅくに行くかも。勉強宿題をがんばる。	じゅく代？
2027年	15(中3)	たくさん人の建物を見る。建築に関する法律を勉強する。	じゅく代？本代
2028年	16(高1)	じゅくに行く。建築士と仲よくなる。	じゅく代
2029年	17(高2)	受験勉強をがんばる。設計図を書く練習をする。	じゅく代
2030年	18(高3)	受験勉強をがんばる。建築に関する本を読む。	本代じゅく代
2031年	19(大1)	大学で建築の勉強をする。設計事務所アルバイト	授業代
2032年	20(大2)	∴	授業代
2033年	21(大3)	∴	授業代
2034年	22(大4)	∴ 大学卒業	授業代
2035年	23	設計事務所に入社して、実務経験をつむ。一人暮らしスタート	生活代
2036年	24	∴ 建築士受験合格	生活代
2037年	25	独立に向けて、案件をたくさんこなす。	生活代
2038年	26	∴	生活代
2039年	27	∴	生活代